

複合ラーメン橋

各種床版の特徴

少数主桁複合ラーメン橋は、少数主桁橋とRC橋脚とを剛結した形式で、少数主桁橋に比べて長支間に対応できるとともに、耐震性や耐風安定性が飛躍的に向上する。特に、山岳部において、張出し架設工法を用いることにより、現場条件に左右されない合理的な架設が可能となるなどの利点がある。

今別府川橋



二重合成複合ラーメン橋の構造



特徴と利点

1) 構造の合理化と経済性

①鋼桁とRC橋脚の剛結ラーメン構造（下図）

- 支承を省略できる
- 耐震性能が向上する
- たわみを低減できる

②少数主桁構造の採用

- 合成床版やPC床版を用いることで、主桁間隔を大きくし、鋼重を低減できる

③ライフサイクルコストの軽減

2) 耐風安定性

架設時の座屈、耐力向上のために横構を設置するので、耐風安定性が向上する

3) 安全で経済的な架設工法

現場条件に合わせて種々の架設工法が採用可能

- トラッククレーン張出し架設工法
- トラバークレーン張出し架設工法
- TEGクレーン張出し架設工法

